

はろば シルバー 人オセンター

平成28年(2016年)
夏号 No.103



もくじ

- 定時総会・平成28年度事業計画
新理事長・前理事長あいさつ 2
- 新役員あいさつ・理事会だより 3
- 地区委員長あいさつ
直撃インタビュー「福祉車両ドライバー」 4
- 自転車保険加入義務化スタート
シニアプラザ1周年記念イベント 5
- 安全適正就業通信・熱中症ほか 6
- 春の奉仕活動・タッチパネル式スライド広告
シルバーショップだより 7
- ひろば・事務局だより
東奈良小学校、社会見学で来所・編集後記 8

伊根の空を 涼しげに飛ぶかもめ

京都府与謝郡伊根町の「舟屋めぐり」にて
船上から撮りました。

写真提供 会員 小西 章氏

silver

平成28年度 定時総会 中期計画の推進強化・拡充に向けて

平成28年度の定時総会が5月31日午後1時半からクリエイトセンターで開催されました。(会員数1385人。出席417人、委任状359人、議決権行使書提出296人)
総会は、浅井孝之氏の司会進行で市民憲章の唱和から始まり、谷口理事長のあいさつ、



定時総会の風景

福岡市長、小林市議会副議長など来賓の祝辞と続き議長に宮川恭一氏を選出して議事に入りました。平成27年度事業報告、同収支決算及び監査報告、新任理事5人の選出など全議案が拍手で承認されました。

また、直後の新理事会で、20年ぶりに会員メンバーから新理事長、島川讓氏が選出され、あいさつがありました。

新年度の事業計画としては、会員参加型による会員の増強と就業機会の拡大、福祉・家事支援チームの強化、シルバーシヨツプ事業や各種イベントなどを介しての普及啓発への重点的取り組みなどが報告されました。



熱心に質問する会員

新理事長あいさつ

自主運営を確固たるものに



新理事長
島川 讓

このたび定時総会にて理事長に就任いたしました。改めてその重い席に身の引き締まる思いであります。
私は会員理事より選出されました。シルバー人材センターが会員で組織する団体であり、その設立趣旨からも正会員がその任にあ

ることが本来の姿であるとしていますが、その責任の重さを痛感せざるを得ません。

●シルバー理念をモットーに●

今後はシルバー人材センターの理念である「自主・自立」をモットーに会員の皆様とともにセンターの運営にあたりたいと思っております。幸いにも近年、会員自体での活動が活発になっており、地域班の動き、あるいは、各専門委員会の動きにそれが顕著に表れていると思っております。この動きを前進させることが自主運営をさらに確固たるものにすると考えています。

●5か年計画の中間期●

28年度は第2次中期5か年計画の中間年であり、過去2か年の検証と今後2か年の進むべき方向を見据える大事な年度となります。会員、役員、事務局の皆様のご協力ご鞭撻をお願いして就任のあいさつとさせていただきます。

退任理事長あいさつ

前理事長 谷口 昭弘

当センターが公益法人化しました平成24年4月に事務局長として着任し1年、理事長として3年、計4年という期間でありましたが、会員、役職員の皆様のご協力をいただき、微力ではありますが、それぞれ職責を全うすることができましたことに、感謝とお礼を申し上げます。

超高齢社会を迎え、労働力人口が減少する時代にあつて、高齢者が働き、活躍ができる場の創出が求められており、シルバー人材センターへの期待と果たす役割は、益々大きくなるものと思われまます。これからも、「自主・自立」「共働・共助」の理念の下、一致協力して当センターの発展にご尽力いただきますよう、併せて、会員皆様方の一層のご活躍を祈念いたしまして、退任のごあいさつとさせていただきます。

28年度役員陣容

理事長	島川 讓
副理事長	富澤 秀雄
常務理事兼事務局長	小西 昭
理事	青柳知恵子・池浦 今泉 正光・小川 尾嶋柳太郎・川本 美子
監事	北川 友二・木村 正文 西島 澄子・西野 信夫 野瀬恵美子・原田 茂樹 廣澤 元一・藤原 経平 山田 良弘 (五十音順) 本川 憲司・荒木 孝

新理事あいさつ

● 社会参加で健康維持を ●



理事
今泉 正光

このたび、総会で北地区からの理事として選任され、大役の重責に身の引き締まる思いです。

今後ますます高齢化社会になり労働力不足を補うためにシルバーの人材が重要になってきます。会員の一人ひとりの豊富な経験や知識・技術を生かす職場がきつとあると思っております。会員の要望と地域の実情を知ること就業に役立つ事が大切だと思います。今後とも、社会参加の一助になれるよう努めてまいります。皆様のご協力をお願いします。

● 生き甲斐・元気 ●



理事
尾嶋柳太郎

このたびの総会において、理事に選任され、任務の重要性和重大さを感じております。班長・地区委員・総務委員の経験を活かし一生懸命務めさせていただきます。会員の皆さまの生き甲斐づくり、地域のボランティア活動などの絆

を深め、元気に就労、元気に生活されることを願っています。厳しい世の中ですが、皆さまのご理解と力添えをいただきながら全力で取り組みますので、よろしくお願います。

● 働くことは、私の元気の源 ●



理事
川本 美子

このたびは、理事という大役を仰せつかり、責任の重さに身の引き締まる思いです。

先日の総会で「元気だから働いている」という考えもありますが「働いているから元気」という考えもある。そう考えるとこれから元気で仕事を頑張っていこうと思いました。今後さらに私たちが社会参加し、人の役に立てる喜び、楽しく仕事ができる環境等が大切だと思います。微力ではありますが、精一杯頑張りますのでどうぞよろしくお願いたします。

● 緊張と不安で ●



理事
野瀬恵美子

このたび、理事に選任され、緊張と不安でいっぱいです。先輩理

事・会員の皆さまの力をお借りしながら、少子高齢化や子育て・介護問題などますます重責化する課題をシルバー世代の私たち自身が健康で充実した生活を送り、その上で少しでも社会貢献に役立てたいと思います。

● 地域の活性化に再び挑戦 ●



理事
山田 良弘

私は、西地区委員や班長を長く経験させていただきました。微力ながら地域の活動・活性化に会員の皆さまのご協力を得、取り組んでまいりました。まだまだ十分とは言えない状態でしたが、今回の理事を機会に再び微力ではありますが、地区委員・班長・会員の皆さまと一体となり「会員数の増加」「就業拡大」「地域活動」に再び挑戦させていただければと願っています。皆さまのご協力をお願いいたします。



理事会だより

平成28年度第1回理事会が4月25日に開催されました。報告事項及び議案は左記の通りです。

▼ 諸般の報告

- 会員の状況、正会員の入会
- 事業実績並びに一般事務報告
- 事務局の新体制について
- 各委員会の活動及び取り組みについて議案

- 平成27年第二次補正予算(案)
 - 平成27年事業報告(案)
 - 平成27年収支決算(案)
 - 平成27年業務及び会計監査
 - 平成28年収支予算案の修正
 - 役員候補者の決定について
 - 平成28年度定時総会について
 - 情報公開規定の一部改正
- 以上の事項について審議され、いずれも承認されました。また、5名の方々の理事の退任と新任の報告がありました。退任された理事の方々、ご苦労様でした。

理事会はシルバー人材センターの大切な機関として各会員の皆さまのより良いシルバーライフの一助となるよう、これからも事務局と一体となり頑張っております。

(西野 信夫)

地区委員長あいさつ



地区委員長
中村 裕

会員参加型で 組織力向上を目指そう

過去2年間、地区副委員長を拝命いたし、委員長の相談役を務めてまいりました。28年度は、茨木市の東・西・南・北・中央の5地区の取りまとめ役として地区委員長を拝命し、5月10日現在の総会員数1340名の方々と如何にスムーズに連携を取り、意志疎通を図っていくか、重責に身が引き締まる思いであります。今後ともご指導ご鞭撻ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

シルバー事業理念の再認識

シルバー事業の基本理念「自主・自立・共働・共助」を会員一人ひとりに十分言葉の意味をご理解いただき、会員による就業先の開拓・会員による新規会員の獲得・シルバー人材センター主催の行事には積極的に参加し、センターの事業活動を盛り上げるように努力いただきたいと思います。

単独班会議比率アップ

昨年度は各班長様のご努力により班会議100%を達成する事ができたのは大きな前進ではあります。28年度は単独班会議比率を50%まで引き上げ、班ごとの主体性を更に取り上げたいと思っています。

気軽な声かけで連携強化

地区委員は、各地区のメンバーの方々の相談役として、また事務



就業状況直撃インタビュー
会員 井野川 博さん
放課後等デイサービス・福祉車両の運転

◆どんなお仕事ですか？

障害のある児童の放課後等デイサービス事業の中で、登録された児童を学校に迎えに行き、事業所に送り、2〜3時間後に、今度は自宅に送り届ける、ワンボックスカーの運転の仕事です。

◆お仕事の時間帯や頻度は？

午後2時頃からの迎えと午後5時頃からの送りの運転があります。が、大体、週3〜4日間就業しています。

局の方々へのパイプ役です。お気軽にお声がけください。よろしくお祈りします。

地区委員の紹介を させていただきます

氏名	役職・担当地区
中村 裕	委員長(東地区担当)
河合眞寿雄	副委員長(北地区担当)
毛利 浩之	地区委員(西地区担当)
深田 壽子	地区委員(南地区担当)
岡本 悦司	地区委員(中央地区担当)

安全は全てに優先される

◆安全対策が大切だと思いますが、どんな対応をされていますか？

ズバリ、安全は全てにおいて優先!!安全第一の精神で、毎日努めています。法定速度を守り、「ゆっくり」走行。信号は2つ先まで確認。歩行者信号もチェックし、急ブレーキを避ける準備を常に心懸けています。

36年間の無事故・無違反の実績を誇りに、児童の安全を守っています。



安全運転で出発です

◆お仕事で苦労されることは？
冬の夕方の運転での安全確保や、

マナー違反の自転車への対応には困る場面が時々ありました。
◆お仕事での達成感はどうな時に感じますか？

下車後に、児童から笑顔で手を振ってもらったり、投げキッスでありがとーと言ってもらったりした時は、正直嬉しく思います。

健康法は体を動かす、人との交流が喜び!!

「楽しんで我が人生」

◆最後に、健康法・ストレス解消策や趣味について聞かせてください。

まず、健康法は体を動かすことだと考えています。シルバー人材センターから運転以外に清掃の仕事をしてもらっています。それらの仕事は元気の源です。



楽しく語る井野川さん

ストレス解消と趣味は、これまでの会社や地域の方々との飲み会やゴルフを通じての交流です。楽しい時間を仲間と過ごす事が喜びになっています。「楽しんで我が人生」です。

◆ありがとうございました。「元気に楽しくお過ごしください。」

(川崎 博一・今出富美子)



「保険の加入義務化」や「交通ルール・マナ

この4月より、自転車の安全で適正な利用の促進を図るため「大阪府自転車条例」が施行されています。その一環として7月1日から、すべての利用者に自転車損害賠償保険の加入を義務づける条例がスタートしました。近年、自転車加害者となる重篤事故が多発し、高額な損害賠償事例が増えているのはご承知の通り。義務化は、被害者の経済的負担を軽減し、被害者の救済を図るのがねらいです。この自転車保険には自動車保険や火災保険の特約、共済など様々な種類があり、本人が気づかないうちに加入している場合もあります。まずは、加入の有無、補償額など、確認してみましよう。

ちなみに、自転車絡んだ人身事故の発生件数全国最多は大阪府。府下全市町村でのワースト1位はわが街・茨木という不名誉な事態となっております。

府では、「保険の加入義務化」や「交通ルール・マナ

自転車保険 加入義務化がスタート!!
負担軽減と被害者救済、高額賠償にそなえ

自転車保険の種類		保険の概要
個人賠償責任保険	自転車向け保険	自転車事故に備えた保険
	自動車保険の特約	自動車保険の特約で付帯した保険
	火災保険の特約	火災保険の特約で付帯した保険
	傷害保険の特約	傷害保険の特約で付帯した保険
共済		全労済・府民共済など
団体保険	会社等の団体保険	団体の構成員向けの保険
	P T A の 保 険	PTAや学校が窓口となり加入する保険
TSマーク付帯保険		自転車の車体に付帯した保険
クレジットカードの付帯保険		カード会員向けに付帯した保険

「の向上」に加えて、高齢者対象にヘルメット着用を促すなど「自転車の安全利用」、さらには「交通安全教育」を自転車条例の「4本柱」とし、利用者の意識向上を呼びかけています。(川野 正照)

私も楽しく参加しました

シニアから園児まで 笑顔いっぱい!

シニアの方々主体に幼児の参加もあり、たくさんの来場者であふれた一周年記念イベント。作ってもらった缶バッジを大事そうに持つ東さくら保育園の園児さんなど、あちこちでほほえましい光景が広がりました。

シルバー人材センターとしては、栗東市のセンターが「かぶと虫幼虫」の配布で参加され、私たちも啓発を題材にした寸劇に出演、皆さまに喜んでいただけたようです。私はセンターの恒例になりつつあるポン菓子作りにも挑戦。圧力釜を金具で叩くのは大音響におびえてなかなか果たせず、委員さんのリードでようやく「ポン」。

シニアプラザの開所から、あっという間の一年でしたが、これからも気持ち良く利用していただける、居心地いいプラザとして末永く愛されることを期待しています。(事務局 前田佳那子)

高齢者の活動支援拠点として、様々な事業を推進しているシニアプラザいばらき(高齢者活動支援センター)。そのオープン一周年を記念して、運営4団体(シニアカレッジ、老人クラブ連合会、社会福祉協議会、シルバー人材センター)による謝恩イベントが6月18日、開催されました。

シニアプラザいばらき記念イベント
おかげさまで一周年
当センターも大活躍!



啓発の寸劇に場内也大爆笑

午前10時からの開会式典には、福岡市長はじめ各団体トップと当センター・島川理事長が出席。近くの家族連れ、保育園児、日頃の利用者など約400人が訪れ、プラザは一日中笑顔に包まれました。会場内には、缶バッジ、綿菓子、当センター広報委員会を中心としたポン菓子コーナーなどが設営され、にぎわいを見せていました。舞台では、威勢のいい太鼓の演奏を皮切りに、園児たちの合唱、謡曲、バンド演奏などで大盛り上がり。当センターも事務局有志による啓発の寸劇、飯倉参事の仕舞(高砂)などを披露して喝采を浴びました。なお、来春2月開催の「アクトイブシニアフェスタ」も同プラザで予定されています。(廣澤 元一)

午前10時からの開会式典には、福岡市長はじめ各団体トップと当センター・島川理事長が出席。近くの家族連れ、保育園児、日頃の利用者など約400人が訪れ、プラザは一日中笑顔に包まれました。会場内には、缶バッジ、綿菓子、当センター広報委員会を中心としたポン菓子コーナーなどが設営され、にぎわいを見せていました。舞台では、威勢のいい太鼓の演奏を皮切りに、園児たちの合唱、謡曲、バンド演奏などで大盛り上がり。当センターも事務局有志による啓発の寸劇、飯倉参事の仕舞(高砂)などを披露して喝采を浴びました。なお、来春2月開催の「アクトイブシニアフェスタ」も同プラザで予定されています。(廣澤 元一)

安全適正就業月間(7月)!!

就業中や就業途上での事故を発生させないよう会員一人ひとりが安全の意識を更に高く持ちましょう。

注意!! 熱中症

熱中症は「高温多湿の環境のもとで徐々に体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体温調節機能が低下し、体内に熱がこもった状態」をいいます。

●熱中症の危険なサイン

- ①自力で飲み物が飲めない
- ②意味不明な言動、もうろう状態、うわごと
- ③皮膚が赤く乾燥して触ると熱く、発汗しない
- ④浅くて速い呼吸
- ⑤意識がない、反応がない
- ⑥けいれん等が起きる



●熱中症の主な症状

- ①めまい、たちくらみ
- ②手足のしびれ、筋肉のこむら返り、頭痛、吐き気、嘔吐、倦怠感、虚脱感 など

こういった症状がでたら、すぐに救急車を!!



- ### ●熱中症が疑われる場合の対処法
- ①風通しのよい日陰や涼しい場所へ移動する。
 - ②冷たいタオル等を首、脇の下、太ももの付け根などに当て、身体を冷やす。
 - ③水分補給のため、塩分等を含んだスポーツドリンクを飲む。
 - ④症状が一向に回復しない場合は、すぐに救急車を呼ぶ。
- ### ●熱中症予防のために
- ①のどの渇きを感じていなくても、スポーツドリンクなどこまめに水分補給をする。
 - ②風通しのいい服装で、帽子などをかぶり直接日光に当たらないようにする。
 - ③食事、睡眠をきちんととり、規則正しい生活をする。
 - ④気温や湿度の高い日には、無理な節電はせず、適度に扇風機やエアコンを使用し室内温度を調節する。

(長尾 克哉)



平成28年度 当センターの事故発生状況

平成28年6月15日現在

No.	日	性別	事故種別	就業状況	概要
1	5月 2日	男	傷害事故	就業中	依頼者の庭先で、柵の落ち葉を清掃中に左手を毛虫(茶毒蛾)に刺され、皮膚炎を起こす。
2	5月27日	女	賠償事故	就業中	依頼者宅の床下収納より清掃用具を取り出した際に、金具取手部分を破損させる。
3	5月30日	男	傷害事故	就業途上	就業先へ自転車で向かう途上、対面から来る自転車を避けようとし、縁石につまずき転倒。左ひざ・左ひじに裂傷を負う。

平成28年度

傷害事故	2
①途上	(1)
②就業中	(1)
賠償事故	1
合計	3

交通安全講習会

8月29日(月)、30日(火)、午後2時からシルバー人材センター大会議室にて開催予定です。

交通安全ルールを学び、安全に対する意識を高め、自転車による安全運転や事故の防止を目的とした講習会となります。

普通救命講習会

8月23日(火)、8月24日(水)、25日(木)、午後1時から消防本部4階会議室において開催予定です。AEDの使用方法や心肺蘇生法を中心に学び、就業中の事故や災害時等の緊急時に役立てるための講習会です。

交通安全講習会・普通救命講習会を受講していることがシルバー人材センターで就業する上での必須条件となります。未受講の方や平成25年8月以降の3年以内に受講されていない方、新入会員の方はぜひ参加をお願いします。

今年度は8月・10月・12月・2月に開催を予定し、回数を多く設けています。今一度、自身の最終受講年月を確認していただき、申し込みいただきますようお願いします。



春の清掃奉仕活動

晴天に恵まれた6月2日、223人の会員参加のもと、恒例の春の清掃奉仕活動が行われました。

久しぶりに会う会員との交流や、島川新理事長のあいさつ、福岡市長の「ご苦労さまです」の声を受けて1時間、市役所前南グラウンド周辺を念入りに清掃しました。

根の張った雑草をていねいに抜いたり、枯れ草やごみを拾い集めるなど、それぞれが熱心に作業をしました。きれいになる広場の様子にうれしくなりました。

また、JR茨木駅・阪急茨木市駅・高橋交差点で、当センターの啓発用チラシとシヨップ案内を配布。受け取ってもらうのに少々苦労もあつたようです。

奉仕活動は、当センターの事業目的でもある社会貢献活動の場です。多くの会員の参加をお願いします。(今出富美子)



みなさん お疲れさまでした

シルバーシヨップ「クローバー」便り

2周年記念に向けて

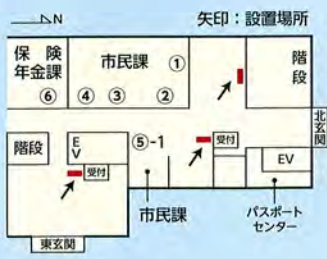
シルバーシヨップ「クローバー」は、シルバー人材センターのアンテナシヨップであるとともに、空き店舗を利用した独自事業として実績を順調に伸ばしてきました。この8月には開所2周年を迎えます。お客さまから「おいしい」「安い」などの声をいただき、弁当、定食

合わせて80食を超える日もあります。弁当のほかに大きなおにぎり二つを注文されるお客さまがおられるなど、嬉しいこともあります。そうした地域の皆さまの要望にお応えし、火曜日もお店をオープンすることになりました。午後からの喫茶では、4種類のコーヒーがいられるイタリア製のコーヒーマシンを入れ充実させています。会員の皆さまも、本格的に、気楽にぶらりとお立ち寄りください。また本格的な夏に向かって、昨年好評だった「冷やしぜんざい」も用意しています。

タッチパネル式スライド広告



市役所に液晶広告版が出来ました。全3か所の案内広告版は、タッチパネル式スライド広告になっています。お立ち寄りの際は、ぜひ画面に触れてみてください。



6月20日(月)、広報委員8名と事務局担当が新聞社を訪れ、編集局を中心に、約1時間20分をわたって見学しました。今後更に親しみやすい機関紙づくりへと活かしていきます。

広報委員が新聞社を見学 機関紙の編集力を更にアップ!!

開催場所…太田小学校グラウンド
開場時間…平成28年8月6日(土) 午後3時から午後9時まで(雨天順延)

太田ふるさとまつりのご案内

今年度初めて、茨木市シルバー人材センターが、2016太田ふるさとまつりに参加いたします。会員と地域の活性化支援を軸に、茨木市シルバー人材センターの普及啓発を目指しています。日 時…平成28年8月6日(土) 午後3時から午後9時まで(雨天順延)

皆さんの仲間 (会員数)

7月1日現在	
男	995人
女	403人
計	1,398人



梅林孝美

絵手紙

風鈴の子守り歌かな熟睡なす
揚げ花火果て波音のすぐそこに

岡村素風

俳句

ひろば



事務局だより

東奈良小校学 社会見学で来所



5月25日、東奈良小学校の2年生10人と教員・保護者が「どきどきわくわく町たんけん」で、シルバー人材センターの見学に来所されました。子どもたちの質問で「何時までやっていきますか?」などもありましたが、「大切にしていることは?」「伝えたい願いは何ですか?」など、奥の深い質問もありました。可愛い声に、微笑んでしまう光景でした。質問を終えると、次はセンター内を探検。通路に展示してある神輿や、各部屋にも興味深そうでした。後日、子どもたちから届いたお礼

第18回 クイズ

夏です!!夏バテにならないように、会員の皆さんは、それぞれ、いろいろな方法で健康づくりを行なっていることと思います。さて、その一つに「酔っぱいモノは、健康な身体づくりに良い」と言われています。それは何故でしょうか?



町たんけんの子供たち

の手紙には、「館内探検が楽しかった!」との感想が多く寄せられました。また、「シルバーまつり」を知らない子どもたちからは「おまつりにも行きたいです」とあり、当センターに興味をもってもらうきっかけになり、職員も有意義な時間を過ごせたと嬉しく思いました。

(高橋 陽子)

退任理事に感謝状贈呈

このたび、当センターの理事を退任された谷口昭弘氏、笠原洋氏、篠部伸治氏、原田あつよ氏、村上けい子氏に、島川理事長から感謝状が贈呈されました。退任された皆様には、役員として当センターの運営にご尽力いただき、心から感謝とお礼を申し上げます。

クイズの答え

疲労物質のことを乳酸といいますが、乳酸が多くなると組織や血液が酸性に傾き、細胞の活動が低下します。酸味成分であるクエン酸や酢酸には、乳酸を水と炭酸ガスに分解して体外に追い出す働きがあるとされています。

(川野 正照)

編集後記

7月から始まった「自転車保険の義務化」にスポットをあてました。そこで、折から開かれた「自転車の正しい通行方法」と題したNPO法人の勉強会に参加。このとき伺ったお話は実に衝撃的。「自転車は車両だから基本は車道。歩道は標識があれば通行OKで車道寄りを徐行運転。歩行者優先ですがベルを鳴らすのも考えて行いたい。歩道で歩行者相手に事故を起こせば絶対的に不利。昨今の高額賠償がそれを物語る…」知らないではすまされません。ちなみに高齢者の事故は、大半が昼間の交差点での出会い頭。「一時停止、信号遵守のルールを守るだけでも大きく減らせる」と茨木警察署の担当者。バランス感覚なども低下しますので気を付けたいですね。